凍結胚移植［保険／自費］

1 月経２～４日目からエストロゲンで子宮内膜を整えて排卵を抑制する

■ 月経２～４日目から妊娠判定まで**エストロゲン**を使います
- □ **エストラーナ**１回３枚ずつを下腹部か殿部に貼付（１日おきに交換）
- □ **ル・エストロジェル**を１回２プッシュずつ２回（朝・晩）両腕全体に塗布
- □ **プレマリン錠**を１回２錠ずつ３回（朝・昼・晩）内服

■ 子宮内膜厚が７mmを超えるまで超音波検査を行います

2 内膜厚が７～８mmを超えたらプロゲスチンで着床準備状態にする

■ **プロゲスチン**を［22:00／10:00］頃から使い始めます
- ■ **ルテウム腟坐剤**を１日２回（朝・晩）腟内に挿入

■ 排卵が起こっていないか確認する血液検査をします

□ カテーテルが入りづらい方は頸管拡張を行います

※ 血液検査で排卵後の状態だった場合は、胚移植を中止します

3 胚移植

■ 食事を普通にとり、ナプキン、生理用ショーツを持参ください

【手順】 胚培養士の説明→着替え→胚移植→希望があれば病室で静養

※ 胚移植後に月経様の出血があっても着床していることがあるので、薬を使い続けて予定どおりに来院してください

4 着床確認

■ 採血して着床を確認します

5 妊娠判定

■ 採血して妊娠を判定します

■ 妊娠した場合は**エストロゲン**と**プロゲスチン**を妊娠８週頃まで継続します

エストロゲン ▶ ▶ ▶

プロゲスチン ▶ ▶ ▶

月経	2～4日目	PRP①	PRP②	超音波検査	超音波検査	P０	P+5～+7	ET+6頃	ET+9頃
	／	／	／	／	／	／	／	／	／

□ 月・水・木：14:00来院
□ 火・金・土：11:30来院

※受付終了１時間以上前に来院ください

□ 月経10・11日目と12・13日目に採血（20 mL）して**多血小板血漿（PRP）**を子宮腔に注入します

□ 食事は軽く済ませ［9:00／15:00］に来院してください

□ 調整に約１時間かかります

□ PRP療法のため休止した**バファリン**は胚移植した日の夜から内服します

PRP

今回の治療についてお知らせください

● **絶対に受診できない日**

□ ない　　／　・　／　・　／

● **服用中の薬やサプリメントなど**

□ プロバイオティクス　□ ラクトフェリン
□ ＶＤ　□ バファリン　□ 柴苓湯　□ 他

● **希望するアドオンなど**

□ PRP　□ プログラフ　□ ２胚移植

※ 今回の治療計画時に43歳未満であれば保険適用です（前回保険適用で全胚凍結した後の初回の凍結胚移植を除きます）

※ 保険適用の周期では先進医療を除く保険適用外の検査や治療（PRP療法、PGT、タクロリムス療法など）を併用できません